

就学後児童調査票

令和5年11月 苫小牧市



【©2011苫小牧市】

☆ 調査票で回答する場合

本調査票に直接記入し、封筒に入れて小学校に提出してください。

☆ インターネットで回答する場合

スマートフォン等で右の二次元コードを読み取るか、
パソコン等で次のURLにアクセスしてください。

<http://www> _____



令和5年12月15日(金)までに

小学校へ提出またはインターネットで回答をお願いします

回答するに当たってお読みください

皆さまには、日頃から市政にご協力いただき、ありがとうございます。

さて、苫小牧市では、平成 27 年度から国が推進している「子ども・子育て支援新制度」に基づき「第 2 期苫小牧市子ども・子育て支援事業計画」を策定し、子ども・子育てに関する事業等を実施しておりますが、当該計画が令和 6 年度をもって終了となることから、令和 7 年度から 5 か年を計画期間とする「第 3 期苫小牧市子ども・子育て支援事業計画」の策定準備を行っております。

本調査は、「第 3 期苫小牧市子ども・子育て支援事業計画」で確保を図るべき幼児期の学校教育・保育及び子ども・子育て支援の「量の見込み」（市民の皆さまのニーズ）を市が算出するため、市民の皆さまの教育・保育・子育て支援に関する「現在の利用状況」や「今後の利用希望」を把握するために行うものです。

なお、ここで回答していただいた内容（施設や事業の利用希望等）は、施設や事業の具体的な利用の可否を確認・決定するものではありません。将来の利用希望を変更していただいて構いません。

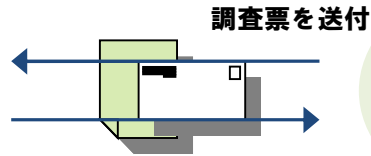
また、国が推進している「子ども・子育て支援新制度」は、以下のような考え方に基づいています。

- 子ども・子育て支援新制度は、急速な少子化の進行、家庭・地域を取り巻く環境の変化に対応して、子どもや保護者に必要な支援を行い、一人ひとりの子どもが健やかに成長することができる社会を実現することを目的としています。
- 子どもの成長においては、乳児期におけるしっかりとした愛着形成を基礎とした情緒の安定や他者への信頼感の形成、幼児期で他者との関わりや基本的な生きる力を獲得し、学童期における心身の健全な発達を通じて、一人ひとりがかけがえのない個性ある存在として認められるとともに、自己肯定感を持って育まれることが重要です。子ども・子育て支援新制度は、社会全体の責任として、そのような環境を整備することを目指しています。
- 子ども・子育て支援は、以上のような考え方をもとに、保護者には子育てについての第一義的責任があることを前提としつつ、保護者が子育てについての責任を果たすことや、子育ての権利を享受することが可能となるような支援を行うものです。地域や社会が保護者に寄り添い、子育てに対する負担や不安、孤立感を和らげることを通じて、保護者が自己肯定感を持ちながら子どもと向き合える環境を整え、親としての成長を支援し、子育てや子どもの成長に喜びや生きがいを感じることができるよう支援を目指しています。

いただいた回答は地域の子育て支援の充実に生かされます



子育て家庭



アンケート調査等により、子育て家庭の子育て支援の利用状況や利用希望を把握



苫小牧市



子ども・子育て審議会



幼稚園、保育園、認定こども園



小規模保育、家庭的保育 等

放課後児童クラブ、地域子育て支援拠点事業、一時保育、病児・病後児保育 等

計画に基づいて整備

第3期
苫小牧市子ども・子育て支援事業計画
(5か年計画)

幼児期の学校教育・保育や地域の子育て支援について

- ・「量の見込み(現在の利用状況+利用希望)」
- ・「確保方策(確保の内容+実施時期)」を記載

子育ての状況や悩み、相談等についてうかがいます。

問 7 子育てに関して悩んでいること、または不安に思っていることはどのようなことですか。
(当てはまる番号すべてに○)

1. 育児の方法がよくわからない
2. 子どもの病気や発育・発達に関すること
3. 子どもとの接し方に自信が持てない
4. 子育てに関しての話し相手や相談相手がいない
5. 配偶者・パートナーの子育ての協力が少ない、または意見が合わない
6. 配偶者・パートナー以外に子育てを手伝ってくれる人がいない
7. 自分の子育てについて、親族や近隣の人などまわりの目が気になる
8. 子育てのストレスを解消できない
9. 子どもを叱りすぎているような気がする
10. 子育てと仕事の両立に関すること
11. 子育てをするための経済的問題（生活費・教育費など）に関すること
12. 子どもが成長していく将来の社会状況等に関すること
13. 保育所等の利用に関すること
14. 幼稚園の入園及び退園後の保育に関すること
15. 小学校の生活や中学校への進学に関すること
16. 小学校の放課後や長期休業（春・夏・冬休み）などの過ごし方に関すること
17. 子どもの友だちづきあい（いじめ・孤立化など）に関すること
18. 不登校・非行などに関すること
19. その他（）
20. 特にない

問 8 お子さんの子育てをする上で、気軽に相談できる人はいますか。また、相談できる場所がありますか。(1つに○)

1. いる／ある
2. いない／ない ⇒ 問9へ

問8-1 問8で「1. いる／ある」と回答した方にうかがいます。

子育てに関して気軽に相談できる先は誰（どこ）ですか。（当てはまる番号すべてに○）

1. 祖父母等の親族	6. 民生委員・児童委員
2. 友人や知人	7. かかりつけの医師
3. 近所の人	8. 市の子育て相談窓口
4. 子育て支援施設（子育て支援センターや児童館など）・NPO	9. その他 ()
5. 小学校教諭	

問 9 子育てをする上で、周囲（身近な人、行政担当者など）からどのようなサポートがあればよいと思いますか。ご自由にお書きください。

--

就労状況についてうかがいます。

問10 お子さんの保護者の現在の就労状況（自営業、家族従事者含む）をうかがいます。母親、父親それぞれについて、当てはまる番号1つに○をつけてください。

※ひとり親家庭の場合は母親または父親の欄にご回答ください。（以下、同様です。）
主な保護者が母親・父親でない場合は、問11にお進みください。

※「フルタイム」：1週5日程度・1日8時間程度の就労

※「パート・アルバイト等」：「フルタイム」以外の就労

母親	父親	
1	1	フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない
2	2	フルタイムで就労しているが、産休・育休・介護休業中である
3	3	パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない
4	4	パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中である
5	5	以前は就労していたが、現在は就労していない
6	6	これまで就労したことがない

問10-1 問10で「3. 4.」（パート・アルバイト等で就労している）と回答した方にうかがいます。フルタイムへの転換希望はありますか。（1つに○）

母親	父親	
1	1	フルタイムへの転換予定がある
2	2	フルタイムへの転換希望はあるが、予定はない
3	3	パート・アルバイト等の就労を続けることを希望
4	4	パート・アルバイト等をやめて子育てや家事に専念したい

問14-1、問14-2は、問14で「1. あった」と回答した方にうかがいます。

問14-1 お子さんが病気やケガで学校を休んだ場合に、この1年間に行った対処方法として当てはまる記号すべてに○をつけ、それぞれの日数も口内に数字でご記入ください。（半日程度の場合も1日とカウントしてください。数字は一枠に一字）

1年間の対処方法	日数
ア. 父親が仕事を休んだ	<input type="text"/> <input type="text"/> 日
イ. 母親が仕事を休んだ	<input type="text"/> <input type="text"/> 日
ウ. (同居者を含む) 親族・知人に子どもをみてもらった	<input type="text"/> <input type="text"/> 日
エ. 父親又は母親のうち就労していない方が子どもをみた	<input type="text"/> <input type="text"/> 日
オ. ベビーシッターを利用した	<input type="text"/> <input type="text"/> 日
カ. ファミリー・サポート・センター事業による預かりサービスを利用した	<input type="text"/> <input type="text"/> 日
キ. 仕方なく子どもだけで留守番をさせた	<input type="text"/> <input type="text"/> 日
ク. その他 ()	<input type="text"/> <input type="text"/> 日

問14-2 その際、「できれば病児・病後児のための保育施設等を利用したい」と思いますか。また、そう思う場合、1年間の利用したい日数（おおよそ）も口内に数字でご記入ください（数字は一枠に一字）。

なお、病児・病後児のための事業等の利用には、一定の利用料がかかり、利用前にかかりつけ医の受診が必要となります。

1. できれば病児・病後児保育施設等を利用したい ⇒ (年間) <input type="text"/> <input type="text"/> 日
2. 利用したいとは思わない

お子さんの小学校就学後の放課後の過ごし方についてうかがいます。

問15 お子さんは現在、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごしてしますか。当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれ希望する週あたり日数を数字でご記入ください。また、「5. 放課後児童クラブ（学童保育）」の場合には、利用時間も口内に数字でご記入ください。時間は必ず（例）18時のように24時間制でご記入ください。（数字は一枠に一字）

1. 自宅	週 <input type="text"/> 日くらい
2. 祖父母宅や友人・知人宅	週 <input type="text"/> 日くらい
3. 習い事 (ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など)	週 <input type="text"/> 日くらい
4. 児童センター ^(注)	週 <input type="text"/> 日くらい
5. 放課後児童クラブ（学童保育）※	週 <input type="text"/> 日くらい → 下校時から <input type="text"/> <input type="text"/> 時 <input type="text"/> <input type="text"/> 分まで
6. ファミリー・サポート・センター事業	週 <input type="text"/> 日くらい
7. その他（公民館、コミュニティセンター・公園など）	週 <input type="text"/> 日くらい

※小学1年生～6年生の学校から帰宅しても保護者のいない児童を対象とした施設

(注) 児童センターで行う放課後児童クラブを利用している場合は「5.」に回答してください。

問15-1 問15で「5. 放課後児童クラブ（学童保育）」に○をつけた方にうかがいます。

現在利用している放課後児童クラブ（学童保育）の満足度をお答えください。
（それぞれ当てはまるもの1つに○）

①開設時間	1. 満足している 2. やや満足している 3. やや不満がある	4. 不満がある 5. どちらともいえない
②支援員の対応	1. 満足している 2. やや満足している 3. やや不満がある	4. 不満がある 5. どちらともいえない

問16 お子さんについて、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれ週当たり日数を数字でご記入ください。また、「5. 放課後児童クラブ（学童保育）」の場合には、利用を希望する時間、何年生まで利用したいかを、□内に数字でご記入ください。時間は必ず(例)18時のように24時間制でご記入ください。(数字は一桁に一字)

1. 自宅	週	<input type="text"/> 日くらい
2. 祖父母宅や友人・知人宅	週	<input type="text"/> 日くらい
3. 習い事 (ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など)	週	<input type="text"/> 日くらい
4. 児童センター ^(注)	週	<input type="text"/> 日くらい
5. 放課後児童クラブ（学童保育）※	週	<input type="text"/> 日くらい →下校時から <input type="text"/> <input type="text"/> 時 <input type="text"/> <input type="text"/> 分まで → <input type="text"/> 年生が終わるまで
6. ファミリー・サポート・センター事業	週	<input type="text"/> 日くらい
7. その他（公民館、コミュニティセンター・公園など）	週	<input type="text"/> 日くらい

※小学1年生～6年生の学校から帰宅しても保護者のいない児童を対象とした施設

(注) 児童センターで行う放課後児童クラブを利用したい場合は「5.」に回答してください。

問16-1 問16で「5. 放課後児童クラブ（学童保育）」に○をつけた方にうかがいます。

お子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に放課後児童クラブの利用希望はありますか。利用には一定の利用料がかかります。(1)、(2)について、それぞれ当てはまる番号1つに○をつけてください。

(1) 土曜日

1. 利用する必要はない
2. 低学年の間は利用したい
3. 高学年になっても利用したい

(2) 日曜・祝日

1. 利用する必要はない
2. 低学年の間は利用したい
3. 高学年になっても利用したい

問17 お子さんの夏休み・冬休みなどの長期休業期間中の放課後児童クラブの利用希望はありますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。また利用したい時間帯を口内に数字でご記入ください。時間は必ず(例)18時のように24時間制でご記入ください。(数字は一枠に一字)

- | | | |
|--|---|--------------------------------------|
| <ul style="list-style-type: none"> 1. 利用する必要はない 2. 低学年の間は利用したい 3. 高学年になっても利用したい | } | <p>利用したい時間帯</p> <p>□□ 時から □□ 時まで</p> |
|--|---|--------------------------------------|

市の子育て環境や子育て支援についてうかがいます。

問18 市に対して、どのような子育て支援の充実を図ってほしいと思いますか。
(あてはまるものすべてに○)

1. 親子が気軽に集まれる場所などをつくってほしい (子育て支援センターなど)
2. 子育てに困ったときに相談または情報を得られる場所を増やしてほしい
3. 子育てについて学べる機会をつくってほしい
4. 親子または子どもが遊べる公園等の施設を増やしてほしい (児童センターは除く)
5. 子育てサークル活動をするための場所をつくってほしい
6. 専業主婦など誰でも気軽に子どもを預けられる保育サービスを拡充してほしい
7. 母子保健・健診を拡充してほしい
8. 安心して子どもが医療機関にかかれる制度を拡充してほしい
9. 子どもが病気や回復期のときに預かってくれる保育サービスを増やしてほしい
10. 保育所や幼稚園にかかる費用負担を軽減してほしい
11. 保育所を増やしてほしい
12. 認定こども園を増やしてほしい
13. 小規模保育施設を増やしてほしい
14. 夜間保育所を整備してほしい
15. 休日保育を増やしてほしい
16. 一時保育を増やしてほしい
17. 病児・病後児保育を増やしてほしい
18. 児童センターを増やしてほしい
19. 学童保育など放課後の小学生を安心して預けられる場所を増やしてほしい
20. 小学校の長期休業 (春・夏・冬休み) に子どもを安心して預けられる体制を整備してほしい
21. 非行防止など青少年育成の体制を整備してほしい
22. 多子世帯の優先入居や広い間取りの割り当てなど、市営住宅入居面で配慮してほしい
23. 残業時間短縮や休暇取得促進など、子育てのための職場環境の改善を企業に働きかけてほしい
24. その他 ()
25. 特にない

問19 お住まいの地域における子育ての環境や支援への満足度について当てはまる番号1つに○をつけてください。

満足度が低い	←	→	満足度が高い	
1	2	3	4	5

問20 最後に、教育・保育環境の充実など子育ての環境や支援に関してご意見がございましたら、ご自由にご記入ください。

調査にご協力いただきまして、ありがとうございました。
切手は貼らずに同封の封筒に入れ、学校に提出してください。

お問い合わせ
苫小牧市健康子ども部子ども育成課
電話 0144-32-6224